

平成 21 年度 博士後期課程学位論文要旨

学位論文題名 (注: 学位論文題名が欧文の場合は和訳をつけること)

Olympic Education for the 2008 Beijing Olympic Games
2008 年北京オリンピック競技大会のオリンピック教育に関する研究

学位の種類: 博士 (学術)

人間健康科学研究科 博士後期課程 人間健康科学専攻
ヘルスプロモーションサイエンス系

学修番号 06999601

氏名: 王一民

(指導教員名: 舛本 直文 教授)

注: 1,000 字程度 (欧文の場合 300 ワード程度) で、本様式 1 枚 (A 4 版) に収めること

【目的】本研究は、北京大会の開催を契機に、中国のオリンピック教育を歴史的に概観し、北京大会開催前後の中国のオリンピック教育の目的、政策、実施状況を明らかにするとともに、中国の独自モデルを持ち合わせたオリンピック教育の特徴と課題を明らかにすることを目的とした。さらに、諸外国のオリンピック教育と比較し、中国独自のオリンピック教育モデルが今後の世界のオリンピック教育に寄与するかどうか、一つの示唆を得ることにした。

【方法】本研究では、オリンピック教育の現地調査を中心にウェブサイト情報で補完しながら分析を進めた。特に、北京大会開催前のオリンピック教育モデル校の活動(2007 年調査)、開催中の「同心結」交流プログラムの活動(2008 年調査)、開催後の 2 大プログラムの成果(2009 年調査)という 3 つのアンケート調査とインタビュー調査に基づいて分析を進めた。

【構成】本論文は主に、第 1 章各国および IOC のオリンピック教育の現状; 第 2 章中国のオリンピック教育の発展と変遷; 第 3 章北京大会におけるオリンピック教育という 3 章から構成した。

【結果】中国のオリンピック教育はオリンピック教育モデル校と「同心結」交流プログラムという 2 大教育プログラムを中心にグローバルとローカルの両方の内容を含み、公的に展開されたことが特徴的であるといえよう。また、中国のオリンピック教育は、小・中高等学校を中心に、モデル校を中心としたオリンピック学習を通じて生徒達にオリンピック知識を理解させ、「同心結」交流プログラムを中心とした国際交流活動を通じて中国文化の発信と異文化理解を進め、道徳教育の一つである愛国主義教育とも連携して愛国心を高めることに寄与しようとしたものであると結論づけることができる。

中国のオリンピック教育の課題は、以下の通りにまとめられた: ①オリンピック教育モデル校と「同心結」交流プログラムが個別に抱えている問題点がみられる。②中国のオリンピック教育を今後全国展開する際、2 大プログラムの一つであった「同心結」交流プログラムを新たに展開することが困難であるため、この中国モデルは片肺プログラムになると予想される。③中国独自のモデルとグローバルなモデルのバランスがとれたグローバルなオリンピック教育を全国展開するためには、今後中国のオリンピック教育にはオリンピック学習だけでなく、国際相互理解、異文化交流プログラムなどの国際交流プログラムの開発が必要であると思われる。